

活動レポート

青年技術士交流委員会

文責：青年技術士交流委員会幹事 益子直樹

技術士の“卵” 高専生の未来を考えるきっかけづくり

「技術士を知ろう！」in 旭川高専

■実施概要

開催日時：H28.6.16(木) 15:00～16:25

講義内容：技術士の役割・制度・メリット等の説明
技術士の具体的な仕事内容(講演3篇)

対象者：旭川工業高等専門学校3年生 約160名

参加者：仁田、小澤、木本、平岡、千葉、益子、
朝日、飯野、齋藤、岡本(以上、幹事)
加藤(講師・修習技術者)

■はじめに

旭川高専では昨年度、機械システム工学科4年生を対象に実施しました。今回は約4倍にあたる3年生全員に対して講演を行いました。「資格の説明と理解の促進」、「OB」、「女性技術者」、「双方向の講演」をキーワードに、一人でも多くの学生が試験に興味を持つよう、講演は3名のメンバーを編成しました。

■技術士の資格と試験

小澤副委員長からは、技術士の役割・制度・メリット等について、千葉幹事長からは第一次試験の問題を例に実際に解いてもらいました。学生たちの笑いが飛び交う楽しい空気の中、学生達の中には「受けてみようかな？」が芽生えていたように見えました。



写真-1 ノリノリの千葉幹事長と生徒たち

■講演

飯野幹事(電気電子部門(電気設備)の技術士)の講演では、「電気の道への動機」、「業務における社会的使命」、「通信を継続させる重要性」を学生に熱く語りかけました。



写真-2 丁寧に熱く語る飯野技術士

旭川高専 OB である加藤氏(修習技術者)の講演では、「なぜ機械から土木へ」と題し、自身の経歴で学んできた事が今の仕事に非常に生かされている事を、理解しやすく説明しました。



写真-3 OBらしく軽快に語りかける加藤氏

岡本幹事(技術士補・化学部門 JABEE コース修了者)の講演では、自身が学生から社会人へと今も自問自答を繰り返しながら成長していることを語りました。特に女子学生には参考になったと思います。